

ふるさとの里山里海を守り伝え、語ることで育つ子どもを育てよう

ご存じですか 平成23年には「能登の里山里海」が世界農業遺産に、「白山手取川ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。

そこで 県教育センターにおいて、石川の里山里海をテーマにした「**いしかわの里山里海学習リーダー教員養成研修**」を企画・実施しました。毎年24名の小学校・中学校・高校・特別支援学校の先生を対象に、1年を通して全7回8日間、現地研修とセンターでの講義・演習に取組み、研修成果を学校での実践等に活用しています。

先生の実感・体感を子どもたちへ

春 小泊ビオトープ



生き物調査

小泊ビオトープを子ども達に「私達の誇りであり、守っていく故郷である」と紹介したい。

夏 春蘭の里



古老の講話 トキが飛んでいた能登

「トキが能登の空を舞うから嬉しいといった単純な話でなく、トキと共生する覚悟はあるか」という問いかけは、生徒とともに考えていきたい里山里海学習でした。

夏 のと海洋ふれあいセンター



海藻標本作り

新たな視点で生き物・植物採集ができ、子どもの興味関心を持続させる手立てとして参考になりました。

冬の雪山の自然の中で、カモシカ・リスなどが見られたことに感動した。私たちがこれほど感動するのであるから子どもの感動は計り知れないと思った。

冬 ブナオ山観察舎



積雪 1.5 m かんじきハイク

今後も、学校・家庭・地域が協力・連携し、子どもの発達段階に応じた里山里海学習に取組み、その成果を学校だけでなく地域や家庭生活でも生かせるようにしていきたいと考えています。ふるさとの里山里海を守り、人間と環境の関わりや生命の大切さを学び、次世代につなぐことのできる子どもを育てる本研修及び学校の取組への保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

あの日の悔しさを胸に、来年こそは悲願の初優勝を。

Since 1932
星稜
学校法人 稲置学園

金沢星稜大学 / 大学院
金沢星稜大学女子短期大学部
星稜高等学校
星稜中学校
金沢星稜大学附属星稜幼稚園
金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

〒920-8620 石川県金沢市御所町10番地1
TEL.076-253-3908 FAX.076-253-3993
http://www.seiryu.jp

全国高校サッカー選手権の応援、ありがとうございました。

教育

たいあつぷ

No.34
2014
2月

いしかわ教育の日 シンボルマーク
発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL (076) 225-1811
http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html



白山市立湊公民館「湊校区ふれあい通学合宿」

子どもたちが集団生活をするために必要なマナーや約束を進んで守ることをめざし、多くのボランティアに支えられて行いました。

<感想>

家の手伝いをしてできるようになり、家族への感謝の気持ちを持つようになりました。いろんな方と交流し、自分たちで食事の準備、洗濯をして過ごした中で、自分のことは自分でできるようになった感じがします。(保護者)

通学合宿の実施について

～家庭・地域における子どもの見守りを通して、いじめ・不登校等の未然防止を図ります～

10団体(小学校PTA・公民館・青少年育成団体等)が県教育委員会の委託を受けて実施

通学合宿

保護者や地域の大人の支援により、地域の宿泊可能な施設で、小学生が異学年で集団生活をしながら通学する。

講座やセミナー

保護者や地域の方が、いじめ・不登校等について理解を深めたり、子どもとの接し方について学んだりする。



珠洲市立西部小学校 PTA「ふるさと合宿」

日頃からお世話になっている地域の方々と楽しく交流しながら、塩作りや防災体験、エコクッキングなど、様々な活動に挑戦しました。

<感想>

「がまんする心」「勇気を持って動いてみる心」「自分は一人ではないと感じる時間」をどんどん与えることの必要性を感じました。

そんな積み重ねがいじめや不登校を生まないとも思いました。(地域の方)



羽咋市子ども会育成会「通学合宿 in 永光寺」

市内のお寺を宿泊場所にして、座禅や写経を体験したり、青年団の方々ときもだめしをしたりして地域の方々との交流を深めました。

<感想>

この通学合宿で学んだことは、家族のありがたさです。私は、いつも家族に自分のことまでまかせっきりでした。共同生活をする中で、すべて自分たちで協力し、いろいろなことを体験させていただきました。

(児童)

企画力やチャレンジ精神を持ち、

地域社会の活性化に寄与する

未来の職業人を育成します！



「目指せ！ 断トツ工業人」(工業高校)

全国高等学校ロボット競技会での優勝を目指し、県内の工業系高校が一丸（ALL 石川）となって、ロボット製作の技術レベルを高める取組を行いました。



ロボット競技会

「農業高校テーマパーク」(翠星高校)

地域の農作物を生産・栽培し、加工、流通・販売まで行う農業の6次産業化システムの構築に取り組んでいます。校地内にマルシェ（市場）を開催し、自分たちの作った野菜や花、スイーツ等を販売するほか、体験農園や庭園を開設し、地域の賑わいの創出を目指しています（11月に開催したマルシェには、明和特別支援学校、津幡高校、七尾東雲高校からも出品していただきました）。



地域野菜（なしうり）の栽培



加工品の製造



加工品の販売（マルシェ）

「高校生ガイド」(金沢商業高校)

高校生の視点を生かした企画旅行商品をつくり、1泊2日のツアーを実施しました。ツアーでは、商業教育を学ぶ能登地区の高校（七尾東雲高校、輪島高校、飯田高校）と連携し、石川県の観光資源を紹介しました。



高校生ガイドツアー（見附島にて、飯田高校と連携）



高校生ガイドツアー（兼六園にて）

「小松地域活性化マーケティングミックス」(小松商業高校)

小松地域の活性化に向けて、生徒自らが商品の「市場調査」「製造」「価格」「販売経路」「販売促進」というマーケティングを組み合わせることで、チャレンジ精神に富んだ職業人育成を目指します。



小松うどんを使った小松フロランタンの開発



業者による開発商品の評価



空の駅（小松空港）での商品販売

県では「石川の教育振興基本計画」の中で、「ふるさとに誇りを持ち、広い視野にたつて社会に貢献する人間」「生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間」等を「めざす人間像」に掲げ、自ら学び、課題を見付け、解決できる力を身に付けた、未来を切り拓こうとする気概あふれる積極果敢な人づくりをめざして、様々な施策を展開しています。

その一つに、今年度から実施している「未来の職業人プロジェクト事業」があります。これは、県内の実業系高校等から専門性を高める先進的な企画を募集し、支援を行うことで、職業教育の質の向上を図り、地域活性化に寄与する人材の育成をめざした取組です。

今年度は、現在、職業教育を行っている県立学校26校2分校全てから応募があり、その中から創意工夫ある取組を企画した4校を事業実施校に指定しました。